

見えにくさについての相談をお受けしています。

ひまわり教室

小学生・中学生・高校生とその保護者の方、
在籍校の先生方、支援者の方に

来校しての
個別相談

在籍校へ
の訪問支援
(エキスパート
派遣事業)

- ♥ 近くを見るための**拡大鏡(ルーペ)**や、遠くを見るための**単眼鏡**などの視覚補助具を紹介し、活用スキルを習得できるよう練習を行います。
- ♥ 読みやすく・効率の良い**文字サイズ**を試し、**拡大教科書**についてのご相談にも応じます。
- ♥ **使いやすい文具・グッズ**などを紹介し、体験していただけます。



台上のものを画面に大きく映せる拡大読書器。細部までしっかり見るのにも有効。

書見台を使って読み・書きし、良い姿勢をキープ

単眼鏡の使用練習(板書を見てノートに書き写す)



拡大鏡(ルーペ)の使用練習



拡大教科書にも、いくつかの文字サイズがあり、本の大きさも違います。1番読みやすい・効率のいいサイズは検討が必要。



家庭科での糸通しも、この道具があればできるかも。

目盛りが見えやすい定規や、太め・濃いめのシャープンなども

- ♥ 見えにくさに応じた**学習・生活の環境**を整備するお手伝いをします。
- ♥ **在籍校を訪問して、学習や学校生活についての合理的配慮や工夫、見え方に合った支援**と一緒に考えさせていただきます。
- ♥ 試験についての合理的配慮を検討し、入試にも備えていけるよう相談に応じています。

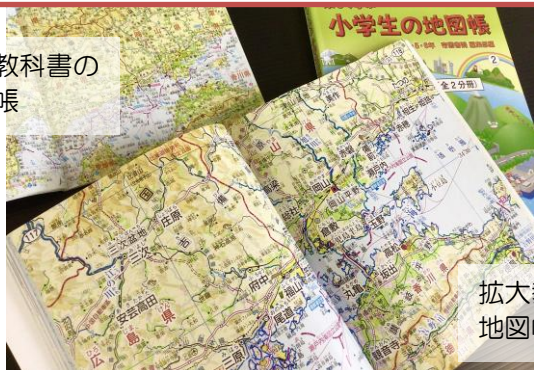
拡大教科書について ＊選定をお手伝いできます＊

見えにくさのあるお子さんにとって、拡大教科書はとても便利なものです。しかし、拡大教科書を選定する際には、見えにくさに応じた文字サイズや読みの効率などのほかに、学習集団の中で利用することや、持ち運び・収納なども考慮する必要があります。

拡大教科書のメリット

- 大きい文字サイズや太めのフォントで見やすい。
- 図や表、写真、イラストも拡大されており、細部まで見えやすい。
- 漢字などの画数の多い字がきちんと確認しやすい（漢字を正しく習得できる）。
- 形の似たアルファベットも判別しやすく、英単語も正確に習得しやすい。

検定教科書の
地図帳



拡大教科書の
地図帳

拡大教科書のデメリット

- 教科書のサイズが大きく分厚くなるため持ち運びが負担になったり、置き場所が必要になったりする。
- 分冊になるため、授業進度によっては複数冊子の用意が必要なことも。
- 検定教科書の1冊に書かれている内容が数ページに分割されて掲載しているので、一斉指示での指導では、該当箇所を見つけるのに時間がかかる可能性がある（レイアウトが違う場合もある）。
- みんなと同じ教科書ではなくなる。（文字サイズによって、A6版、B5版、A4版、変型版などがある）

※文字が多い国語は小さめのポイント数、理科や社会は図・写真がよく見えるように大きめ、というように教科の特性に応じて選ぶ方法もあります。

※iPadのアプリ「UDブラウザ」で見る「PDF版教科書」の利用や、検定教科書との併用が有効な場合もあります。

注：iPad活用の場合、アプリ（UDブラウザ）のダウンロードは無料ですが、教科書データのダウンロードには手続きが必要です。また、iPadや併用する検定教科書は有料です。

例：学校に拡大教科書を置いておき、家庭ではルーペで拡大しながら検定教科書を使用したり、iPadで「PDF版教科書」を活用したりする。

視覚補助具について ＊グッズ選びと活用練習をお手伝いできます＊

拡大教科書の活用だけでなく、ルーペなどを活用できるようになると、いろいろな教材に対応できます。また、黒板に書かれたことをノートに写したり、社会見学等で訪れた工場の様子を大きくして見たりするには、単眼鏡が有効です。これらの視覚補助具についても、子どもさんに合った道具を選んだり、使い方を練習したりする支援も行っています。

在籍されている学校に伺って、教科書や視覚補助具の活用、観察や細かな道具の使用の工夫を考えたり、進学に備えた合理的配慮を検討したりと、見えにくさに応じた支援を一緒に考えさせていただくことができます。「エキスパート派遣事業」（県が実施しています。各市町村、学校にご案内が届いていると思います）をご活用ください。